中期経営計画

《 ASKA PLAN 2012 》

次　第

1. ASKA PLAN 2012に至る背景

- ASKA PLAN 06-08･09総括
- 06-09の実績
- 事業環境認識
- ASKA PLAN 10－12の位置付け
- あすかの目指す姿

2. ASKA PLAN 2012概要

- ASKA2012　基本方針
- 経営ビジョンの実現に向けて
- ASKA PLAN 2012　数値目標
- あすか製薬 医薬事業
- 研究開発　パイプライン
- あすかActavis製薬　ジェネリック
- その他
- コスト削減

3. 株主還元

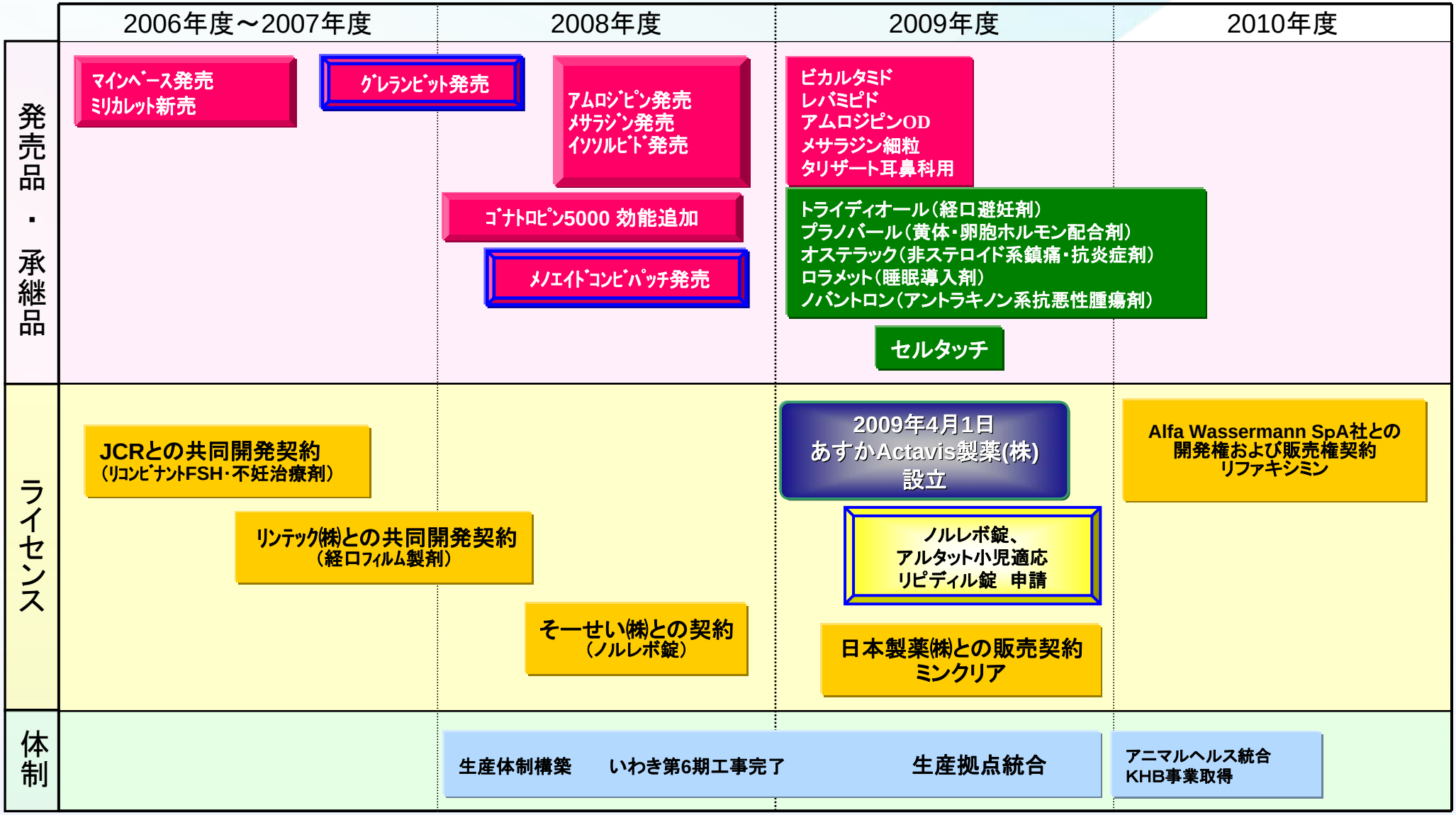
- 配当方針･株主還元に対する考え方

ASKA PLAN 2012に至る背景

ASKA PLAN 06－08･09総括

（年度）	目　標	成　果	評価	今後の課題
08年	売 上 高　330億 営業利益　30億	304億 10億	× ×	収益構造改革 売上原価の上昇 高い販管費率 減価償却費の増加
09年	売 上 高　330億 営業利益　5億	357億 4億	○ ×	
	工場の統合	2010.4 統合	○	
	900人体制	1,050人	×	900人体制実現
	（Yベース）	（08年）　（09年）		
12年	産婦人科領域　100億	47億　54億	—	産婦人科における新製品の上市 ライフサイクルマネジメントによる シェア拡大
10年	ﾌｪﾉﾌｨﾌﾞﾗｰﾄ　100億	84億　89億	—	
09年	GE 領域　100億	94億　121億	○	

06－09の実績



あすか製薬株式会社

事業環境認識

- 新薬創出・適応外薬解消等促進加算の試行
  薬価改正　業界平均 △5．75%、当社 △7．0%
  長期収載品の薬価見直し △2．2%
- ジェネリック使用促進　2012年 数量シェア30%
- リスク管理、法令順守への取り組み
- 市場構造の変化（調剤市場の一層の拡大）

＊ 事業環境変化の対策としてコストを削減する

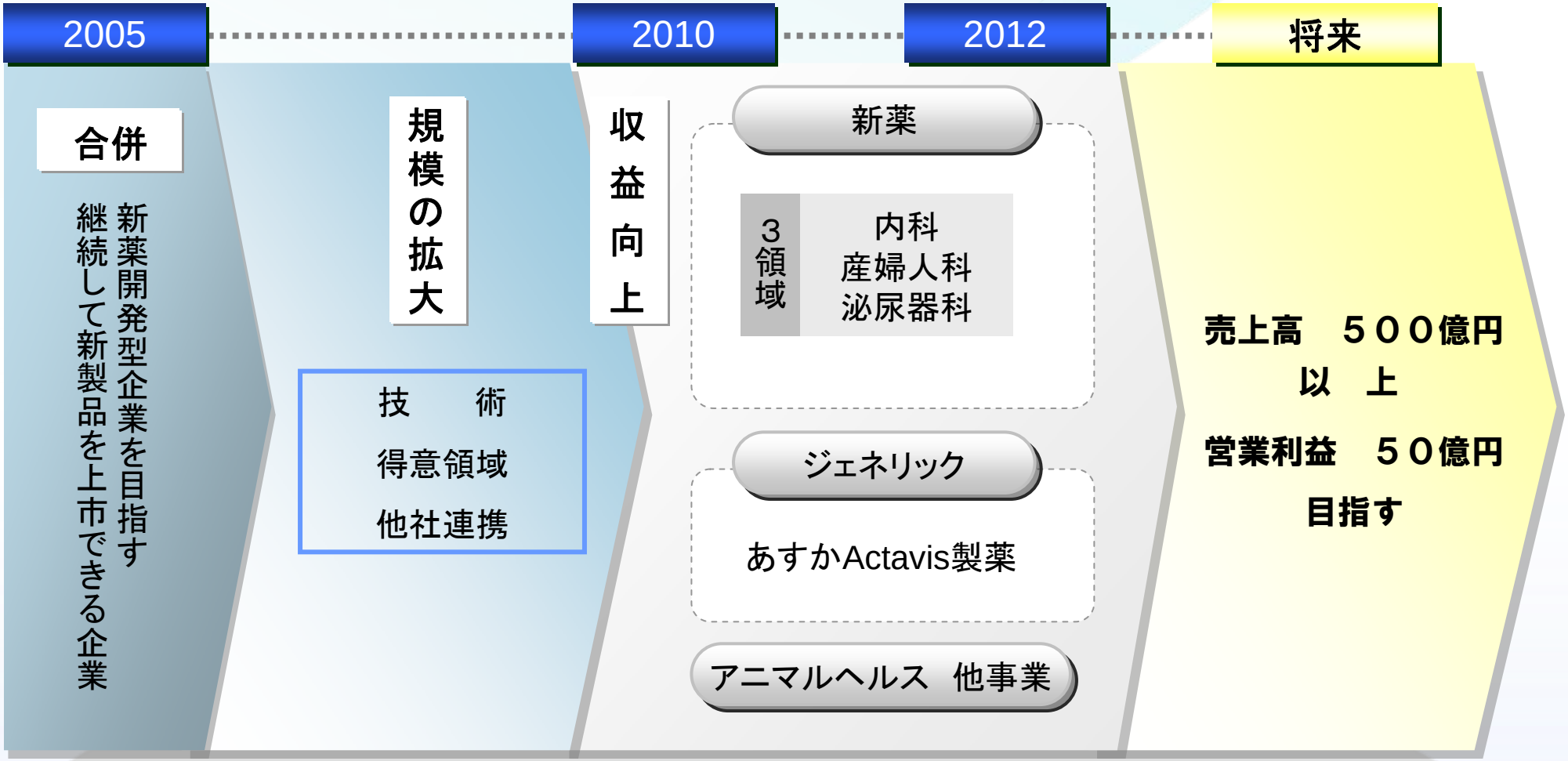
＊ 継続的に新薬を投入する

＊ ジェネリック使用促進策に対し、
早期にあすかActavis製薬を軌道に乗せる

ASKA PLAN 10－12の位置付け

2006～2009	2010～2012	次　期　中　計
飛躍の足固め	**収益の向上**	**堅固な事業体制の構築**
売上　357億円	売上目標　480億円 営業利益目標　30億円	・売上高 500億円以上 ・営業利益率 10%目指す ・重点3領域の強化 ・多様化する医療ニーズに対応
・新発売13品目 （新薬:2　GE:10　効能追加:1） ・あすかActavis製薬設立 ・ライセンス契約　4件 ・ワイス製品承継　6品目 ・アニマルヘルス事業譲受 協和発酵バイオ ・工場統合	・新製品の発売 ・売上・利益寄与 ・経費削減	

あすかの目指す姿



飛躍の足固め　収益の向上　堅固な事業体制の構築

あすか製薬株式会社

ASKA PLAN 2012概要

収益の向上

ASKA PLAN 2012　基本方針

❖「収益の向上」を図り、
環境変化に強い企業体質を構築

❖あすかの独自性を追求し、競争力を強化

経営ビジョンの実現に向けて

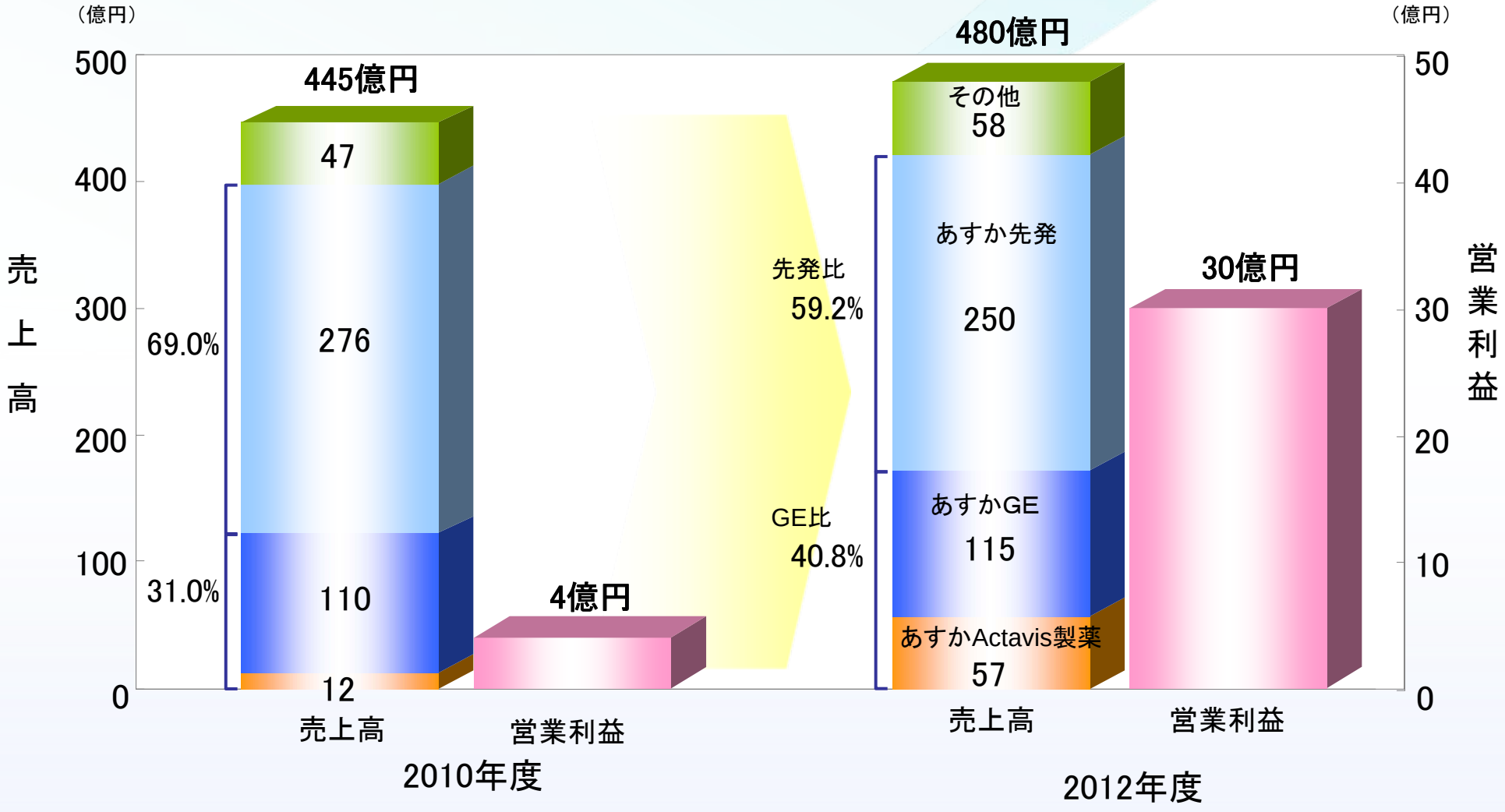
強い競争力のあるトップクラスの新薬開発型製薬企業をめざす

ASKA PLAN2012

徹底したコスト削減	コスト構造改革
継続的新薬創出	資源を集中し開発を加速
ジェネリック事業の推進	販売体制を強化し、 あすかActavis製薬を軌道に乗せる
特定領域で強い営業力	内科、産婦人科、泌尿器科

ASKA PLAN 2012

― 売上高構成比および営業利益―



あすか製薬株式会社

主要製品売上高

（金額単位：百万円）

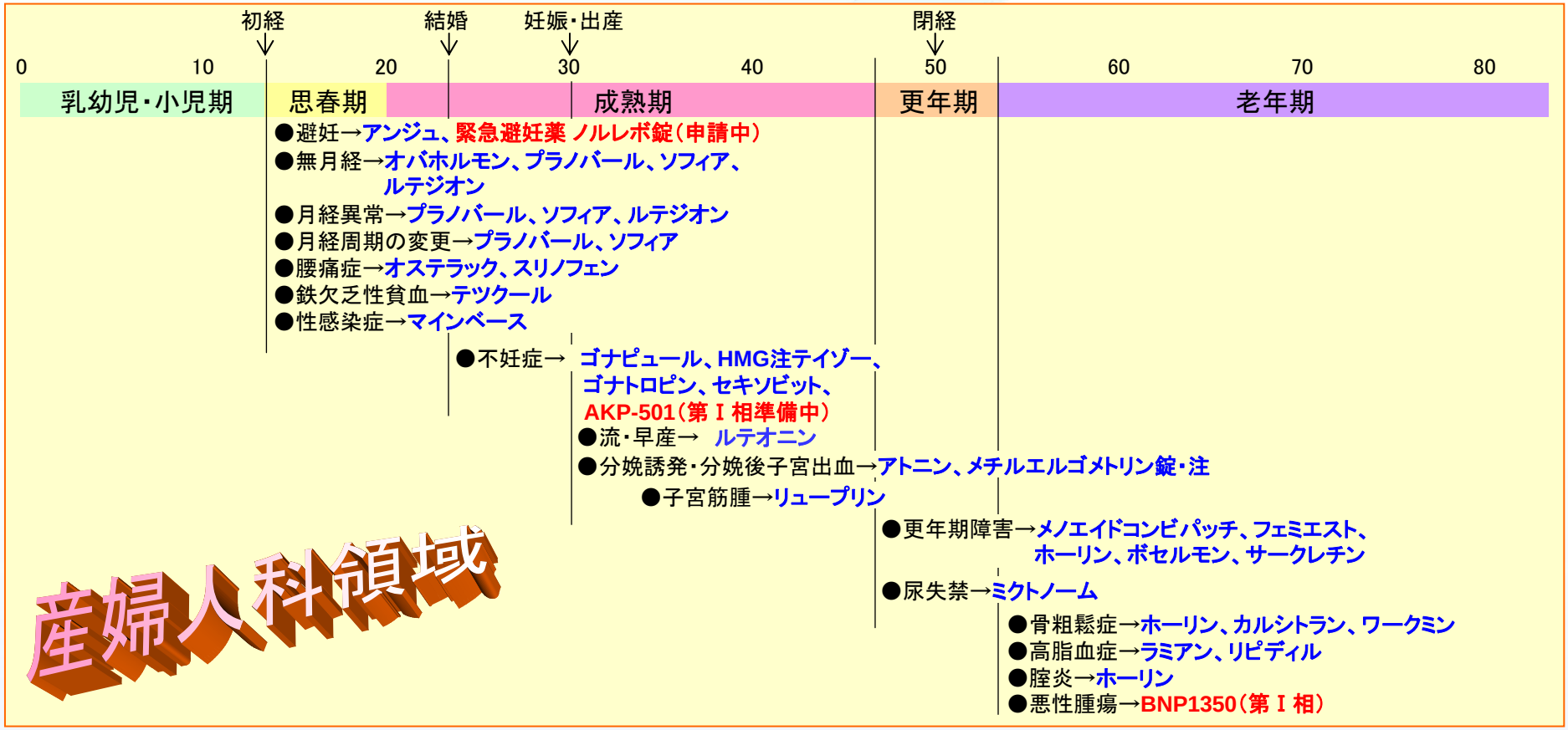
	領域	製品	主効能	2009年度	2010年度		2012年度	
				実績	計画	前年比(%)	計画	対2009年度比(%)
	内科	セルタッチ	変形性関節症、肩関節周囲炎、筋肉痛	4,309	8,340	（注）	5,790	（注）
		チラーヂン	甲状腺機能低下症	3,795	3,810	100.4	3,950	104.1
		アルタット	胃・十二指腸潰瘍	2,582	2,350	91.0	2,110	81.7
		リピディル	高脂血症	4,000	4,120	103.0	4,470	111.8
※		アムロジピン「あすか」	高血圧症、狭心症	1,050	1,220	116.2	1,160	110.5
※		ラミアン	高脂血症	718	660	91.9	560	78.0
※		レバミピド	胃潰瘍、急性胃炎	65	350	538.5	420	646.2
※		メサラジン「ＡＫＰ」	潰瘍性大腸炎、クローン病	31	300	967.7	350	1129.0
	産婦人科	アンジュ	避妊	1,114	1,430	128.4	1,480	132.9
		メノエイド	更年期障害	143	350	244.8	550	384.6
※		ＨＭＧ	下垂体性無月経の排卵誘発	739	710	96.1	640	86.6
※		ゴナピュール	下垂体性無月経の排卵誘発	326	340	104.3	310	95.1
	泌尿器科	プロスタール	前立腺肥大症・癌	3,474	3,210	92.4	2,770	79.7
※		ビカルタミド	前立腺癌	1,433	1,490	104.0	1,850	129.1
※		リストリーム	前立腺肥大症に伴う排尿障害	637	750	117.7	980	153.8
			主要製品計・（主要製品/医療用医薬品）%	24,416	29,430	76.2	27,390	75.0

※：ジェネリック製品

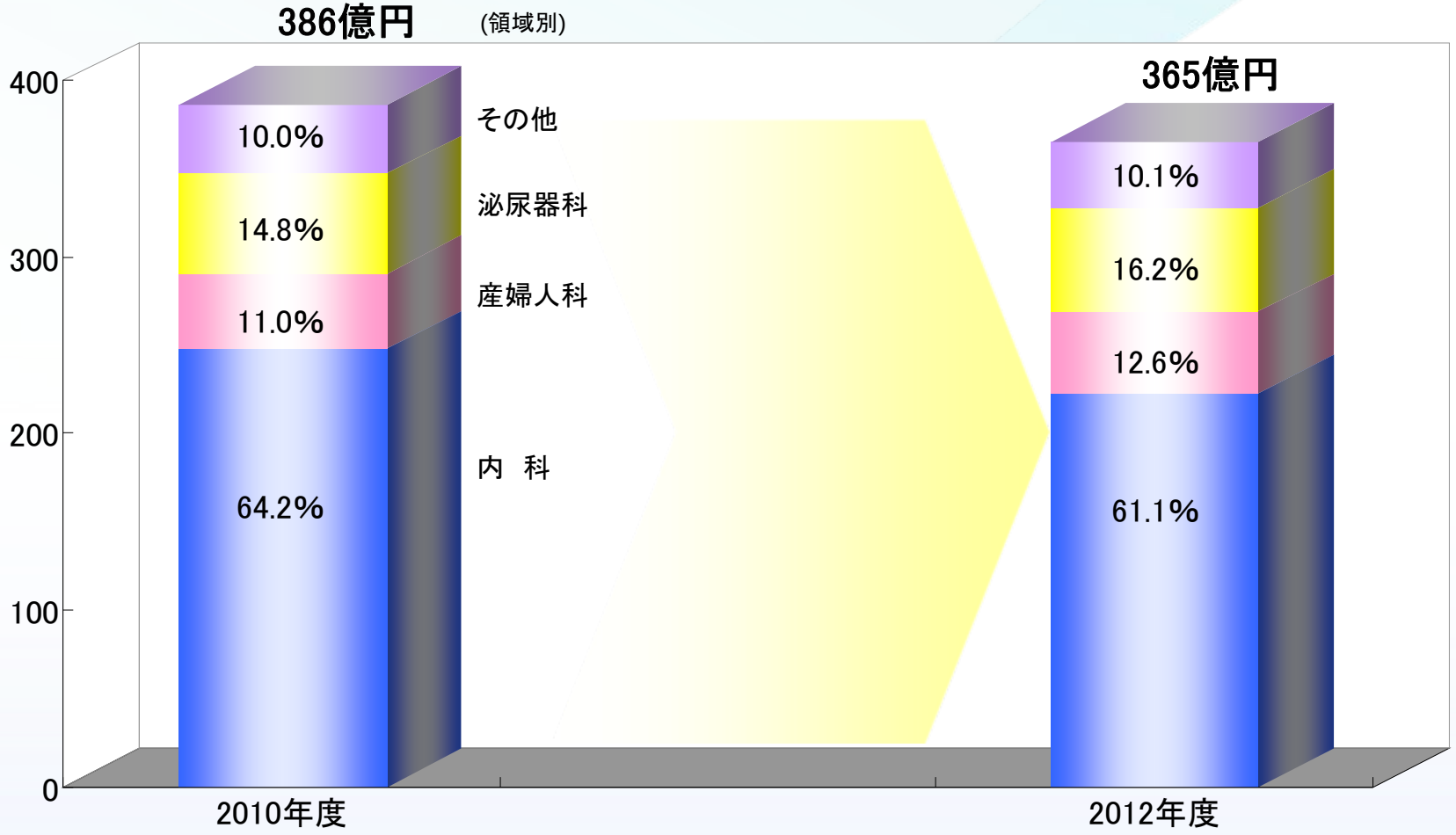
(注)2009年度セルタッチ実績が半年分のため算出せず

あすか製薬
―医薬事業への取り組み―

内科（消化器系及び内分泌系）、産婦人科及び泌尿器科 の重点3領域に集中



あすか製薬医薬事業



・新製品の売上は加味していない

あすか製薬新製品

【ミンクリア内用散布0.8％】

- 内視鏡検査の前処置に用いる胃蠕動運動抑制剤
- 注射を必要とせず、内視鏡の鉗子口から直接投与
- 内視鏡検査後の回復期間を必要とせず、同効薬に比べ安全性が高い
  - 申請時期 ： 2009年12月 （日本製薬株式会社）
  - 承認時期 ： 2011年前半予定

【ノルレボ錠】 日本初の緊急避妊薬

- 日本産婦人科学会、日本家族計画協会からの推奨
- 望まない妊娠や人工中絶手術による心身面でのダメージの回避
  - 申請時期 ： 2009年9月
  - 承認時期 ： 2011年予定

＜別紙資料参照＞

あすか製薬主要製品
ライフサイクルマネジメント戦略
― 主力製品の維持拡大 ―

【アルタット小児適応・用法追加】

- **小児科医療の要望に応える**
- **日本初のH2ブロッカー/PPIでの小児適応・用法追加**
  - **申請時期 ： 2009年10月**
  - **承認時期 ： 2011年前半予定**

【リピディル錠】

- **有効成分含量を減量したあすかオリジナル製剤(リピディルカプセルと生物学的に同等)**
- **服薬コンプライアンスを考慮し，カプセルから錠剤に変更**
  - **申請時期 ： 2010年2月**
  - **承認時期 ： 2011年前半予定**

研究開発方針

① アルタット新適応、リピディル新剤型の承認を取得し、
BNP1350の承認申請を行う。

② AKP-501（リコンビナントFSH）のフェーズⅢを実施する。

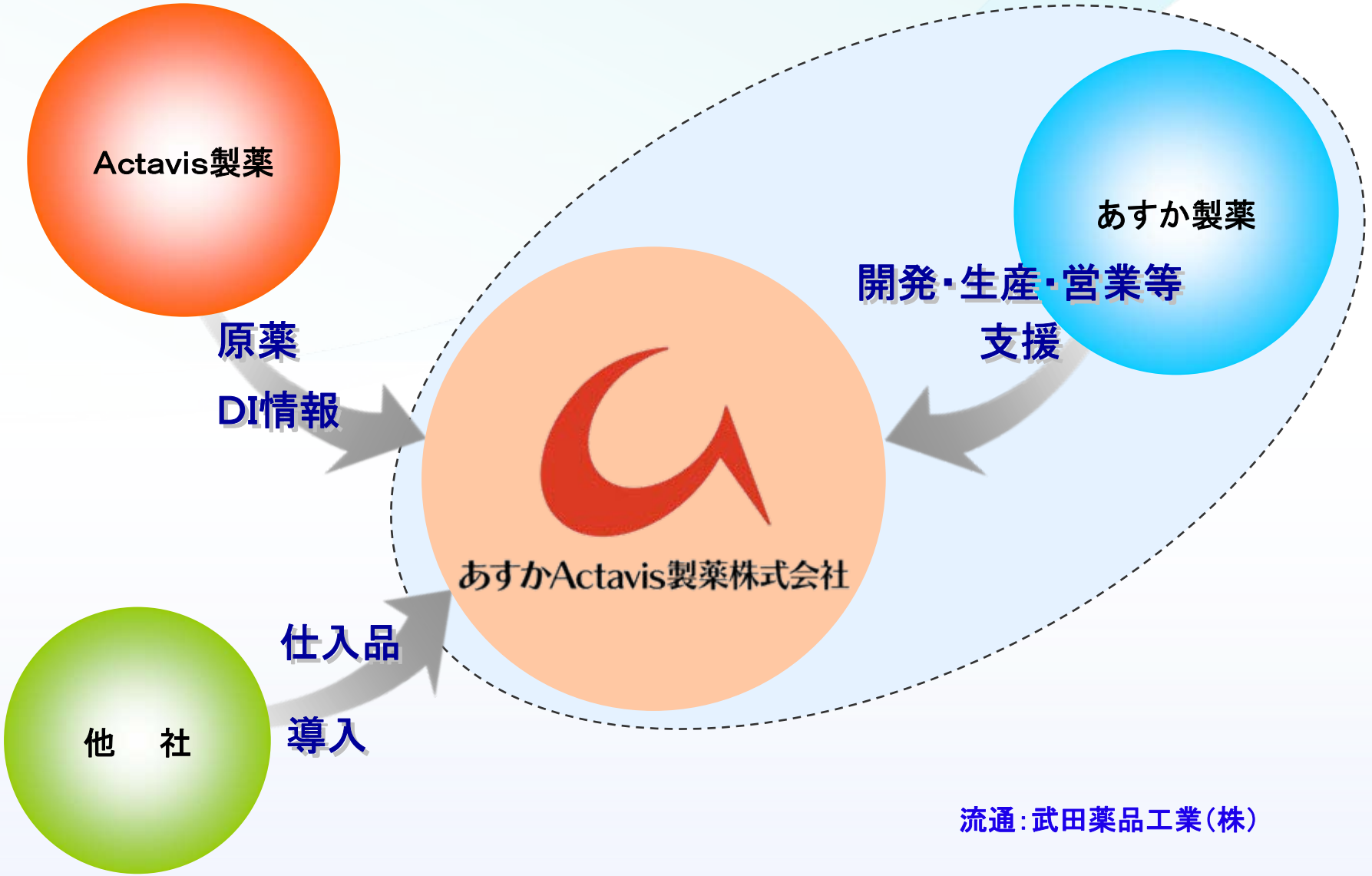
③ GPD-1116、AKP-002を中心に資源を集中し、
開発を加速する。

新薬開発状況（基礎段階テーマを除く）

2010年7月現在

開発段階	開発コード	起　源	適応症	特　長	領域	上市時期
申請中	SOH-075	(株)そーせいより導入	緊急避妊	安全性が担保された国内初で唯一の緊急避妊薬	婦人科	2011年
申請中	AKP-004	自社開発	胃潰瘍、十二指腸潰瘍 吻合部潰瘍、逆流性食道炎	小児適応、用法・用量の追加	内科	2011年
申請中	NPO-11	日本製薬㈱より 導入(コ・マーケティング)	内視鏡前処置薬	注射剤によらない、直接胃内投与する新しいタイプの安全性の高い内視鏡前処置薬	内科	2011年
申請中	GRS-027	自社開発製剤	高脂血症	独自の製剤技術により開発された高吸収性製剤	内科	2011年
第Ⅲ相	BNP7787	BioNumerik社より導入	抗悪性腫瘍剤(シスプラチン+タキサン系)投与患者における生存期間延長効果		―	未定
第Ⅱ相	GPD-1116	自社開発品	慢性閉塞性肺疾患(COPD) 気管支喘息	気管支拡張作用と抗炎症作用を併せ持つ治療薬	内科	未定
第Ⅰ相	AKP-001	自社開発品	炎症性腸疾患(IBD)	炎症局所で作用して、全身的な副作用のない薬剤	内科	未定
第Ⅰ相	BNP1350	BioNumerik社より導入	悪性腫瘍	消化器毒性を軽減した新規カンプトテシン誘導体	婦人科	未定
第Ⅰ相	AKP-002	自社開発品	前立腺肥大症に伴う排尿障害	排尿症状及び蓄尿症状の改善作用を有する排尿障害治療剤	泌尿科	未定
第Ⅰ相 準備中	AKP-501	日本ケミカルリサーチより導入	不妊症	遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン(rFSH)	婦人科	未定
第Ⅰ相 準備中	L-105	Alfa Wassermann SpAより導入	肝性脳症 IBS クローン病	リファマイシン系の非吸収性抗生物質	内科	未定

あすかActavis製薬



流通：武田薬品工業（株）

＜別紙資料参照＞

その他

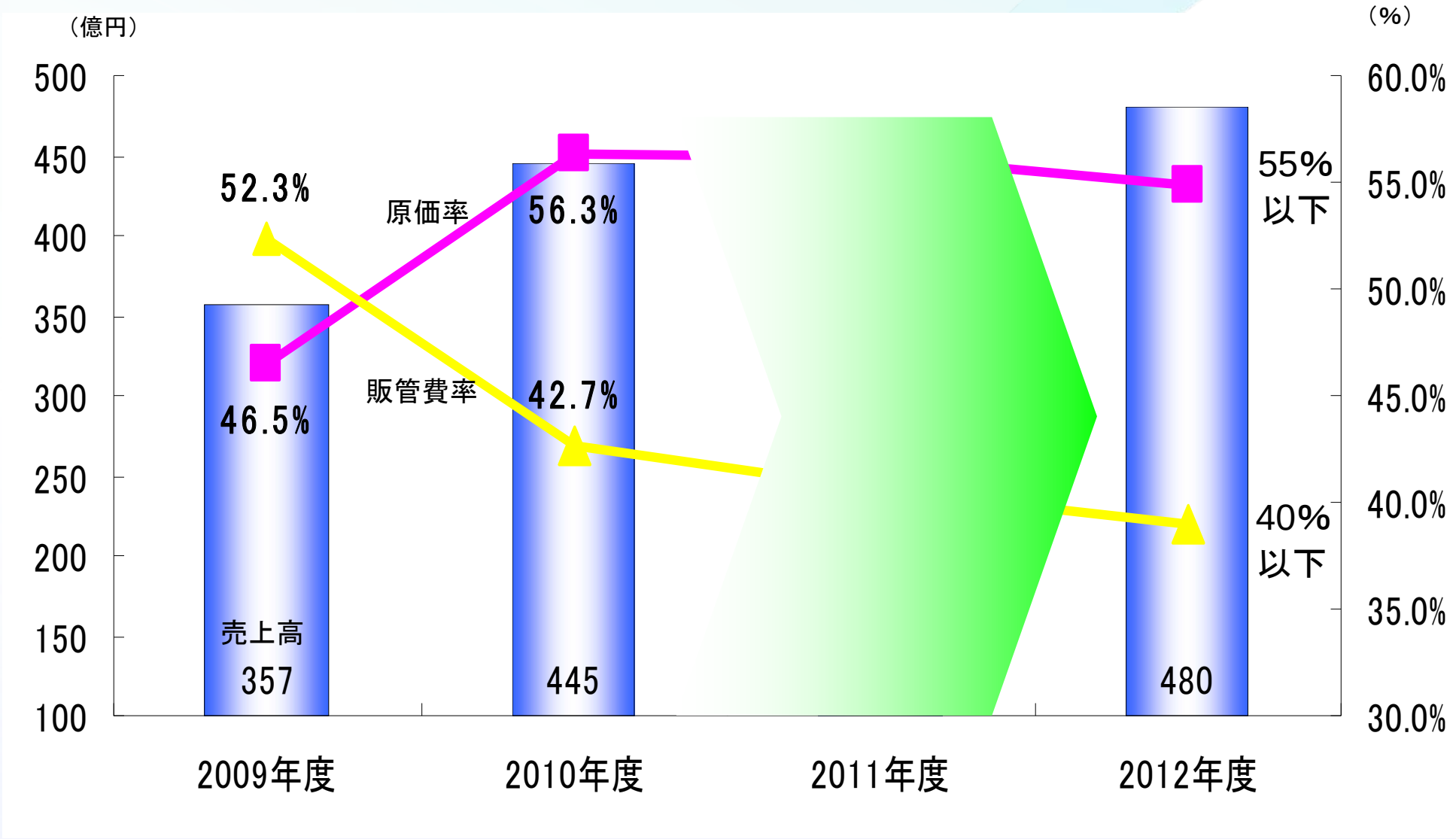
アニマルヘルス事業

あすか製薬の“ホルモン”・協和発酵バイオの“飼料”
繁殖と栄養の組み合わせによりシナジー効果を発揮し
収益の向上につとめる

あすか製薬メディカル

得意とする検査事業を中心に規模拡大する

原価率および販管費率の見直し



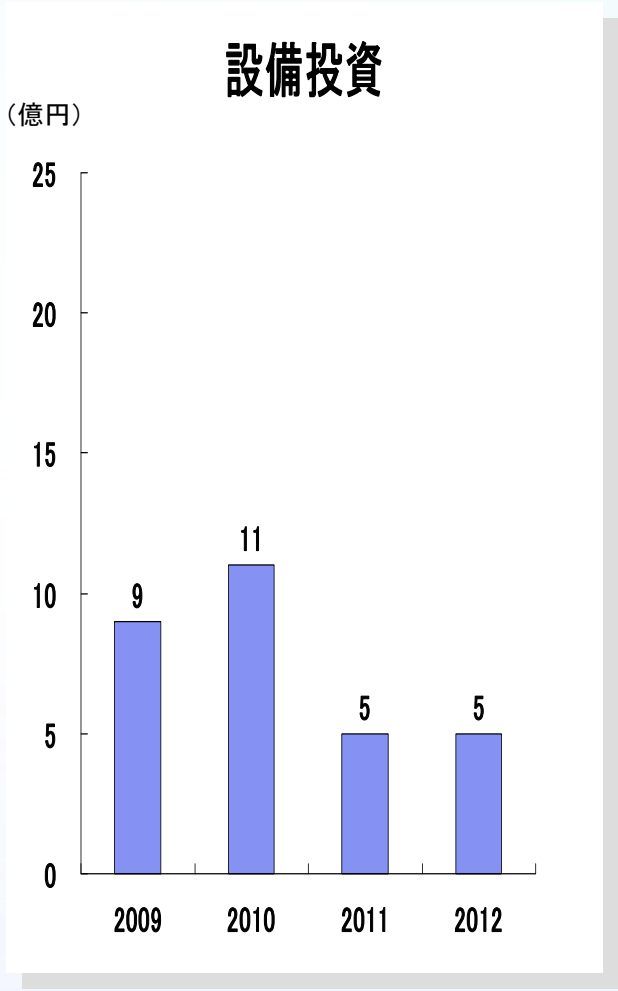
コスト削減と効率化

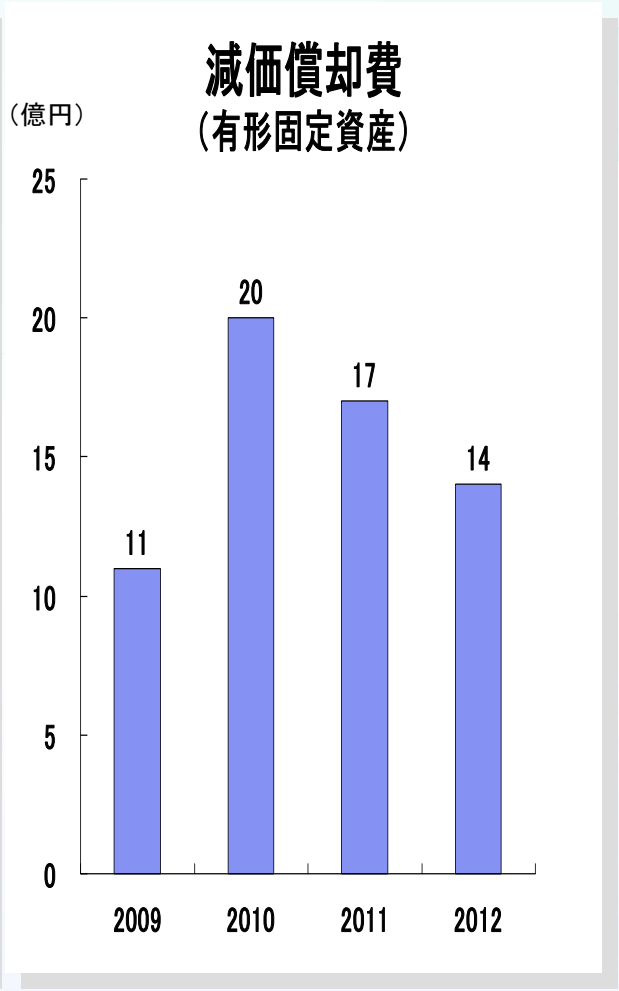
- 人件費：希望退職者　100名程度募集
  募 集 期 間　2010年7月26日～30日
  特損見込額　約10億円

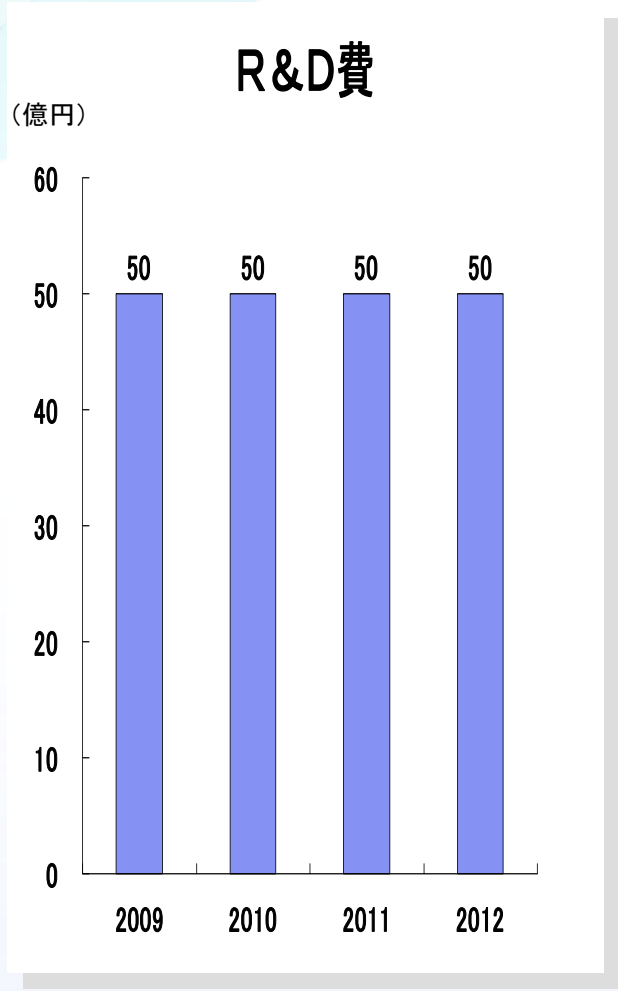
- 経　費：徹底したコスト削減により経費を抑える

- 生　産：工場統合・設備増強により、
  生産品目を拡大し、且つ稼働率を高める

設備投資計画等


設備投資
（億円）
25
20
15
10
5
0
9
11
5
5
2009
2010
2011
2012


減価償却費
(有形固定資産)
（億円）
25
20
15
10
5
0
11
20
17
14
2009
2010
2011
2012


R&D費
（億円）
60
50
40
30
20
10
0
50
50
50
50
2009
2010
2011
2012

株主還元

株主還元

＜ 配当方針 ＞

安定的な配当を基本方針として当期業績、
今後の事業展開および財政状況等を勘案し決定する

	2009年度	2010年度
一株当り配当額	14円	14円（予定）

まとめ

- コスト削減と構造改革により収益向上を図る
- 新薬の早期育成とライフサイクルマネジメントにより主力品の売上維持・伸張を図る
- 企業体質の強化により売上高500億円を目指すとともに、強い財務基盤を構築する

将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております

したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません

お問い合わせ先

法務広報部

Tel　　：03-5484-8366

e-mail：kobayashi-mt@aska-pharma.co.jp

担当　：小林　基博



あすか製薬株式会社



あすか製薬株式会社

― 参 考 資 料 ―

参考資料1

ミンクリア内用散布0.8％

ー 胃内視鏡検査前処置剤（消化管運動抑制剤） ー

- 申請時期 ： 2009年12月
- 発売時期 ： 2011年前半（予定）

内視鏡検査実施回数
1,000万回／年
現有市場薬価ベース
約40億円

- 開 発 メーカー： 日本製薬（株）
- 効 能 ・ 効 果： 胃内視鏡検査における前処置
- 作 用 機 序： 平滑筋細胞のCaチャネルの抑制
- 同 効 薬 ： ﾌﾞｽｺﾊﾟﾝ，ｸﾞﾙｶｺﾞﾝ

販売形態：日本製薬（株）とのコ・マーケティング

＜製品コンセプト及びベネフィット＞
①同効薬と同等以上の胃蠕動運動抑制効果
②同効薬に比べて安全性が高い
③内視鏡検査後の回復期間を必要としない
④他剤に比べて痛みを感じない



参考資料2

ノルレボ錠

（合成黄体ホルモン・レボノルゲストレル製剤）　ー緊急避妊薬ー

- 申請時期 ： 2009年9月30日
- 発売時期 ： 2011年（予定）　　市場規模 ： 約20億円（新規開拓）

■ あすか製薬：独占販売権を取得（そーせい㈱：製造販売承認申請）

【販売意義】

1）産婦人科領域の製品ラインアップの充実

- 日本初の緊急避妊薬

2）社会的要請への対応

- WHOもレボノルゲストレル単独剤の使用を推奨
- 社会的意義が高い
- 関連学会からの推奨
  （日本産科婦人科学会、日本家族計画協会）

3）母体保護に貢献

- 望まない妊娠や人工中絶手術（30万件）による心身面でのダメージを回避
- 産婦人科領域戦略の理念・「女性のよりよい良質な生活」を提供



緊急避妊ピル　NORLEVO（SOH-075）

参考資料3

あすかActavis製薬

会　社　名	：	あすかActavis製薬株式会社
事　　業	：	医療用ジェネリック医薬品の 開発、製造及び販売
設　　立	：	2009年4月
資　本　金	：	2億円
出資比率	：	あすか製薬　55% Actavis　45%

あすかActavis製薬株式会社

参考資料4

Actavisの概要

- 世界第8位のジェネリック医薬品企業グループ
- 本社：アイスランド（設立：1956年）
- 世界約40カ国に展開　製造拠点：14カ国22工場
- 売上高：約2,000億円　従業員数：約11,000名
- 販売品及び開発品：約1,000品目

順位	メーカー	売上高（ドル）
1	テバ（イスラエル）	110億85百万
2	サンド（ドイツ）	75億57百万
3	マイラン（アメリカ）	51億38百万
4	ラチオファーム（ドイツ）	26億60百万
5	ワトソン（アメリカ）	25億36百万
6	スタダ（ドイツ）	23億04百万
7	アポテックス（カナダ）	22億80百万
8	アクタヴィス（アイスランド）*	22億00百万

アクタヴィス（アイスランド）*は非上場のため参考値

（出典：ミクス世界のジェネリック企業ランキング2008）